

おみおくりの作法

上映時間 91分

『おみおくりの作法』（おみおくりのさほう、Still Life）は、2013年のイギリス・イタリア合作のドラマ映画。監督・脚本のウベルト・パズリーニ（英語版）がガーディアン紙に掲載された「孤独死した人物の葬儀を行なう仕事」に関する記事から着想を得て、ロンドン市内の民生係に同行して実在の人物や出来事について取材を重ねた末に誕生した作品である。

2013年の第70回ヴェネツィア国際映画祭オリゾンティ部門で初上映され、監督賞を含む4賞を受賞している。

監督 ウベルト・パズリーニ（英語版）

脚本 ウベルト・パズリーニ

製作 ウベルト・パズリーニ、フェリックス・ヴォッセン、クリストファー・サイモン（英語版）

製作総指揮 バーナビー・サウスクーム

出演者 エディ・マーサン

音楽 レイチェル・ポートマン

撮影 ステファアーノ・ファリヴェーネ

編集 トレイシー・グレインジャー、ギャヴィン・バックリー

ストーリー

ロンドン市ケニントン（英語版）地区の民生係として働くジョン・メイは44歳の独身男である。彼の仕事は孤独死した人物の葬儀を行なうというもので、事務的に処理することもできるのだが、几帳面な性格のジョンは誠意をもって1人1人を丁寧に「おみおくり」している。ところが、人員整理によって解雇されることになり、ジョンの向かいの家で孤独死したビリー・ストークの案件が最後の仕事となる。近くに暮らしていながら言葉も交わしたことがないビリーの死に、同じように孤独な1人暮らしをしているジョンは少なからずショックを受け、ビリーを知る人々を訪ねてイギリス中を旅することにする。

キャスト

ジョン・メイ・エディ・マーサン（御友公喜）

ケリー・ストーク・ジョアンヌ・フロガット（英語版）（衣鳩志野）

メアリー・カレン・ドルーリー（英語版）

プラチェット氏・アンドリュー・バカン（英語版）（家中宏）

ジャンボ・キアラン・マッキンタイア（宮崎敦吉）

シャクティ・ニール・ディソーザ

ホームレスの男・ポール・アンダーソン

ホームレスの男・ティム・ポッター（英語版）

受賞

第40回報知映画賞 海外作品賞（2015年）

第89回キネマ旬報ベスト・テン 外国映画ベスト・テン 10位[3]

その他

主演のエディ・マーサンは本作の脚本を読んだ印象を訊かれ、「計算されたアイデアや小手先で書かれた脚本ではなく、真面目で誠実で、とても珍しくユニークだったので、是非とも演じたいと思いました」と答えている。